

平成28年4月15日
九州地方整備局
6時10分現在

防災ヘリコプターによる被災状況の調査を開始

～熊本地方の地震に関する九州地方整備局の取り組み（第6報）～

1. 概要

- 平成28年4月14日21時26分ごろ熊本県熊本地方で地震（最大震度7）が発生したため、九州地方整備局災害対策本部は非常体制を発令しました。
- 最大震度7を観測した熊本県益城町^{ましきまち}の災害情報等の収集、災害応急対策の支援等を行うため、熊本県庁2名、熊本市役所2名、益城町4名、グランメッセ対策本部3名、御船町1名、嘉島町1名、西原村2名、大分県庁2名のリエゾンを派遣し、活動中。
- 九州地方整備局所管施設の点検を実施中。官庁施設3施設（熊本地方合同庁舎、三角港湾合同庁舎、熊本地方検察庁）で被害を確認。
- 4月15日6時05分より防災ヘリコプターによる上空からの調査を開始。

2. 体制

九州地方整備局災害対策本部は、非常体制 を発令

○本部体制履歴

- ・ 4/14 21:26 非常体制 （地震震度7） 発令

3. 防災ヘリコプターによる調査

【 はるかぜ号：九州地方整備局 】

4/15 6:05 福岡空港離陸

4/15 6:05以降 熊本地方上空調査

【 愛らんど号：四国地方整備局 】

4/15 8:00 福岡空港離陸（予定）

4/15 8:00以降 熊本地方上空調査（予定）

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部 企画部 企画課長 大場 慎治

電話:092-414-7301(本部直通) F A X :092-481-9210(本部直通)

【参 考】

リエゾン（災害対策現地情報連絡員）とは

フランス語で『組織間の連絡、連携』の意味。災害時に自治体との連携を密接に図るため、被災した自治体からの情報を待つのではなく、自治体へ直接派遣して被災情報を集し、災害対策車の派遣など国から自治体への支援や復旧活動を迅速かつ円滑に行うようにするもの。

防災ヘリコプター「はるかぜ号」「愛らんど号」現地調査箇所

福岡空港
(離陸箇所)



はるかぜ号飛行エリア

愛らんど号飛行エリア

